

令和6年度 第4回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和6年7月12日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和6年7月12日（金） 午前9時30分～10時15分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所4階402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

鳥羽千晴 教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

清水将道 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

岩本浩二 教育総務課副課長

大砂正則 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

谷口さゆり こども未来課副課長

大田貴久 施設整備課長

池田大千 人権推進課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、飯田委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和6年度第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、鳥羽教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

（1）小中学校・幼稚園・こども園幼稚園部の夏休みについて

小中学校、幼稚園、こども園幼稚園部では、7月20日から9月1日までの夏休みに入る。

感染症対策及び熱中症予防対策の周知徹底を図り、児童生徒には、長期の休みを活かして、有意義な時間を過ごしてもらいたい。

教職員等は、研修等を通じて力量アップと、2学期に向けた準備を進めてもらいたい。

(2) 山崎南中学校区学校規模適正化に向けた対応について

山崎南中学校区の学校規模適正化では、第6回目の山崎南中学校区地区協議会を開催。各部会の協議状況の報告、校歌制作等について協議している。また、それぞれの学校間において、歓迎遠足を行うなど山崎南小学校開校へ向けて交流事業を実施している。

(3) しそう幼児教育支援事業について

7月1日に一宮北こども園において、令和6年度第1回米栗幼児教育支援事業の「公開保育」と「しそう幼児教育支援委員会」が開催され、幼児期の教育・保育の協議が行われた。教育委員をはじめ小中学校の教職員、幼稚園、保育教諭等28名の出席があった。

(4) 部活動の地域移行に向けた取り組みについて

「部活動の地域移行」に向けて、本年度は各種団体の代表で構成する委員により協議会の開催を予定。本市における中学校生の望ましい運動・文化活動の地域移行について、ニーズ把握を行い、令和7年度より段階的に学校から地域に移行していく方向で検討する。

6 協議報告事項

(1) 令和6年8月～ALTの配置予定について

資料1【3P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(2) 通学路交通安全推進協議会の協議状況について

資料2【4～5P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(3) 山崎南中学校区学校規模適正化推進状況について

資料3【6～8P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

大砂次長より7月10日の地区協議会の決定事項について、追加報告した。

開校式の日程を戸原小学校 3月1日（土）城下小学校 3月8日（土）とした。

委員の主な意見及び事務局の説明

（金本委員）

通学路の点検について、車を運転していると県道で雨が降ると水が溜まっているところがある。勢いよく車で通ると水が歩道にはねる。もし、歩道を児童が歩いていると児童に水がかかってしまうと思いながら通った。天候によっては状況が変わり危険になる場所もあると感じたので、天候なども考慮して点検していただきたい。

（片山委員）

P7の教務部会からの交流事業の報告で感想が特徴的だった。特に戸原小学校は少人数の学校の児童は、人数の多い学校と一緒にいることの不安が大きいことがよくわかった。

今回の交流で少し解消されているようだが、今後、子供たちが新小学校が楽しみになるよう、両校の先生方には残り半年、子供たちの不安が解消されるよう対応をお願いしたい。

(鳥羽教育総務課長)

7月10日に開催された第7回学校規模適正化山崎南中学校区協議会の内容について口頭で報告した。正式には次回教育委員会で報告する。

(4) 令和6年度第1回中学校の運動・文化部活動のあり方に関する協議会の設置について

資料4【9～12P】により、中田学校教育課長が説明した。

(5) 令和6年度しそく児童生徒支援プロジェクト事業について

資料5【13～17P】により、中田学校教育課長が説明した。

(6) 令和6年度人権教育研修会について

資料6【18P】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

P13しそく児童生徒支援プロジェクト事業について、各学校における不登校対策の推進についてお願いしたい。不登校の要因の多くがいじめの問題に関連しているといわれている。いじめや学校生活の満足度などいろんなアンケートを取られているが、調査の結果と教員の認識のズレがあることをしっかり確認し、コミュニケーションをとる中で、十分な内面理解をしていただきたい。教師の認識によるいじめの発見については件数が少ないが、一つでも多く発見していただきたい。

(中田学校教育課長)

本市では、いじめが原因による不登校・長期欠席の報告は受けていないが、いじめアンケートだけでなく、学校が把握した子供たちのトラブルについては、特に取り扱いを丁寧に行い、いじめの見逃しゼロ、あるいは見つけたいじめが氷山の一角で、もしかしたら後ろに大きないじめがあるかもしれないということも含め組織的に学校が対応ができるよう、今後も指導・助言を行います。

(中川委員)

いじめの問題等について、担任の先生や少人数の先生が抱えてしまうことがないように、チームとして、あるいは学校として子供をいろんな方向から見ていただき支援をしていただき、先生の負担も考慮して大事に進めていただきたい。

(中田教育長)

P9 中学校の運動・文化部活動のあり方に関する協議会については開催はいつか。

(中田学校教育課長)

委員の方々の日程調整中。8月に開催予定。

(中田教育長)

協議会設置要綱の第2条第1項」第2項にある「地域展開」とはどんな意味か。

(中田学校教育課長)

国が示す休日の部活動地域移行について、完全に実施できる状況にあるか、現在では見通しが立っていない状況にあり、地域移行になるのか、地域連携になるのかなど、完全実施を目標にこの協議会を進めていくことも含め、地域での展開という表現としている。

(7) 令和6年度宍粟学講座について

資料7【19P】により、清水社会教育文化財課長が説明した。

(8) 人権文化をすすめる学習会等について

別添資料により、池田人権推進課長が説明した。

8 次回会議の招集について

令和6年8月16日（金）午前10時00分から、波賀市民協働センターにおいて、令和6年度第5回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

飯田委員が閉会した。